

(別添3)

【射水市】
校務DX計画

射水市では「信頼される教育」を推進するため、教員の多忙化解消に取り組むとともに、教員が意欲的に働くことのできる環境づくりを進め、また教職員の業務の負担軽減や効率化を図るため統合型校務支援システムを導入している。

今後、1人1台端末を積極的に活用し効率化・ペーパーレス化を実施する等の校務デジタル化を推進し教職員の負担軽減・業務効率化を図る等、更なる校務DXを推進する。

1 ペーパーレス化の推進

保護者向けのアンケートや出欠回答等を紙ベースで実施することは、集計等の業務負担が大きい。また、紙ベースでの依頼の場合、依頼から回収、集計に至るまでの時間的効率も悪い。このことから、クラウドシステムを活用し、アンケート・出欠回答等の回答を電子化することを推進し、業務効率化を図る。

職員会議等の資料を紙ベースで実施することは印刷等の準備や修正等の作業において、効率が悪い面もある。教職員が資料を共有し、資料を閲覧しながら会議ができる環境を整えるなど、ペーパーレス会議を推進する。

2 FAX・押印の原則廃止

FAXでのやりとりは紙ベースでのやりとりを前提としており、情報の蓄積や業務の効率化に支障がでているものも存在する。業務実態を把握し、緊急性等の観点から必要と判断されるものを除き、FAXによるやりとりを廃止する。

保護者や外部とのやりとりにおいて、押印・署名が必要とされるものについては、今後のペーパーレス化や働き方改革に支障がでることが懸念される。業務実態を把握し、不必要と判断される押印・署名は原則廃止することとする。

3 次世代の校務支援システムの整備

教職員が校務支援システムや学習支援システム等のそれぞれのデータを一体的に活用できるよう、クラウドシステム間データ連携や校務系・学習系のネットワーク統合等の必要となる環境整備を計画的に実施し、学習面や生徒指導等における教育の質の向上及び学級や学校運営の改善等を図る。

4 教育情報セキュリティポリシーの策定

射水市の教育情報システムは「射水市情報セキュリティポリシー」を準用して運用している。今後、クラウドシステム間データ連携やネットワーク統合等の教育DXを推進していく上では、情報セキュリティポリシーを改訂し、学校教育の現場にあったセキュリティ対策基準を策定する必要がある。

次世代の校務DXを情報セキュリティを確保するため「射水市教育情報セキュリティポリシー」を新たに策定する。